

## 資料 8 : 「ルーズベルト伝説」 成立の過程

1 : 1906 年 12 月 4 日の大統領教書にて、ローズヴェルトが、「日露戦争における日本の兵士の死をも恐れぬ勇敢さは、The Loyal Ronins に示されている」と発言。**【事実】**



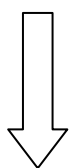
2 : 1907 年 9 月 26 日 ホワイトハウスにローズヴェルトを訪問した津田梅子に対してローズヴェルトが、「私は四十七浪人の話を読んで感心し、娘にもそれを読むように勧めた」と話す。**【事実】**



3 : この話が、日本の新聞に掲載される【会見直後か 1908 年 2 月末に帰国時】**【未見】**  
※この際に「四十七浪人の話」の部分が、齋藤修一郎が証言したように、記者によって「齋藤訳『忠臣蔵』」となったのではないか？



4 : 1928 年 6 月、外務省の依頼で書かれた「小村寿太郎伝」が、「公表を憚れるところがある」との理由で長く公刊されないことに苛立った信夫淳平が、項本を抜粋した『明治秘話 二大外交の真相』を公刊する際に、「ルーズベルト伝説」を創作してそこに挿入。  
※この際に参考にしたのが、1～3 の事実ではなかったか？  
○ローズヴェルトが話した相手を「津田梅子」⇒「小村寿太郎」に変更  
○話をした場所を「ホワイトハウス」⇒「別邸」に変更  
○こうすることでこの話が、アメリカを訪れた小村が講和会議の前にローズヴェルトの別邸を訪れたときの話であるかのように偽装



○1937 年に竹下勇が回想した際に 1～4 を参考にして偽証か？  
※だから日時が明記されず、津田発言と内容が酷似

5 : 1950 年台に木村毅がこの話を『日米文学交流史の研究』で採録。**【史料批判欠如】**



6 : 2000 年台になり日露戦争 100 年に際して松村正義が『日露戦争 100 年』で再度取り上げる。**【史料批判欠如】**



7 : 民族主義者の中で話題となる = 「ルーズベルト伝説」の成立